

ジブリパークを核とした地域の魅力向上による賑わい創出・地域活性化の取組について

1 ジブリパーク開園に向けた「旅行者を迎えるムードづくり」

(1) ジブリパークをイメージした駅等における歓迎装飾の実施

○主要な交通結節点となる駅等における歓迎装飾の設置

＜歓迎装飾の設置箇所＞

交通機関	駅等の名称
リニモ	愛・地球博記念公園駅、公園西駅、藤が丘駅、八草駅
愛知環状鉄道	八草駅
JR 東海	名古屋駅、千種駅、高蔵寺駅、岡崎駅
名古屋鉄道	名鉄バスセンター、豊田市駅、新瀬戸駅、尾張瀬戸駅
空港	中部国際空港、県営名古屋空港

○リニモ及び愛知環状鉄道におけるラッピング車両の運行（2022. 10. 15 から運行開始）

対象	ラッピング車両／全編成数	運行頻度
リニモ	全 9 編成のうち 1 編成（3 両）	1 日 15 往復程度
愛知環状鉄道	全 20 編成のうち、1 編成（2 両）	1 日 5 往復程度

◇出発式：リニモの愛・地球博記念公園駅、愛知環状鉄道の北野柵塚駅

リニモ



愛環



(2) おもてなしの雰囲気づくりの醸成

○サポーターの育成（介助・外国人対応ボランティアの育成等）

◇愛・地球博記念公園におけるユニバーサルサービスボランティアの募集（2022. 7. 11～2022. 9. 11）

活動期間：2022. 10. 12～2023. 3. 31

活動場所：愛・地球博記念公園 園内※ジブリパークエリア外での活動

【多言語対応】案内所を中心に園内各所で英語・中国語等による施設案内や誘導
【介助・案内対応】障がいのある方、高齢の方や乳児連れの方などの補助及び車いす移動の介助、手話や筆談による施設案内

◇研修等の実施

全体研修（初回研修）及び会場見学：2022年10月（Web配信も実施）

個別研修（第2回）及びボランティアミーティング：2023年1月、2月実施予定）

個別研修内容：

【多言語対応】①習慣・文化の違い、②英語・中国語での案内例、③緊急時の案内方法

【介助・案内対応】①どんな人がどんなことに困るのか（聴覚障害・視覚障害・車椅子の対応）、②各種マークの名称と意味、③声掛け方法

ボランティアミーティング：①最新情報の確認と情報交換、②来年度に向けて期待すること

(3) ジブリパークに関する地域全体の盛上げや情報発信

○「ジブリパークのある愛知」ロゴマークの活用

<許諾事例>

県産品の包装紙への印刷、観光雑誌や自治体HPへの掲載、観光PR等で配布する手提げ袋、のぼり看板、道の駅の切符、マンホールのデザイン等

○県・市町村及び交通事業者の施設や広報媒体における、HP掲載・リンク、チラシ配布、ポスター掲出

2 ジブリパークの開園に向けた周辺地域の渋滞対策

○愛・地球博記念公園駐車場の増設：北側駐車場約300台

○臨時駐車場の開設（11月）

愛知学院大学、名古屋商科大学、愛知県陶磁美術館

○公共交通機関利用の呼びかけ

リニモや愛知環状鉄道を始めとした鉄道、バス、タクシーなど公共交通機関利用の呼びかけ。

駅等における歓迎装飾の設置、リニモ及び愛知環状鉄道におけるラッピング車両の運行(上記1に記載)。

3 リニモ沿線地域づくり重点プランにおけるジブリパーク関連の取組（上記1を除くソフト面）

(1) ジブリパーク周遊観光促進事業

○ジブリパーク来園者データ等提供サイトの運営

愛知県への誘客に取り組む観光事業者等に来園者データ等を提供。

○来園者データ等を活用した広報の実施：データを活用したウェブ広告・メルマガの配信。

○愛知の魅力発信に係るサイトの構築・運用

ジブリパークチケット購入サイト内に、愛知の魅力を発信する特設サイトを構築。

ジブリパーク来園者やジブリファン向けに造成した観光プログラム等を特設サイト内で販売・紹介。

○PR・プロモーション

2021年度事業で制作した「ジブリパークのある愛知」をイメージさせる動画「風になって、遊ぼう。」を国内外で放映。

(2) 「愛・地球博」の理念とジブリパーク基本理念が融合したイベントの開催

リニモウォーキングにおいて、ジブリパークを含めた愛・地球博記念公園内の施設をコースに組み込み、ウォーキング後に園内施設の利用を促した。(2022年春風第3回4月24日、秋色第3回11月13日)

(3) ジブリパークとの連携による公共交通利用促進策の検討

- ジブリパーク公式HPにて、リニモや直行バスなどの公共交通機関利用促進に関するメッセージを表示。
- 愛・地球博記念公園HPのアクセス・駐車場ページへのリンクをジブリパーク公式HPに設置し、公共交通機関利用促進についての情報や駐車場の満空情報及び混雑予測カレンダー等の情報の閲覧を促した。
- リニモ及び愛知環状鉄道にて(株)スタジオジブリがデザインした缶バッジの配布。

4 ～ジブリパークからちょっとよりみち～デジタルさんぽラリーの実施

【目的】ジブリパークの来園者を始め、多くの方々にリニモに乘車し、沿線の施設等を周遊して地域の魅力を知っていただく。

【概要】獲得スタンプ数に応じて、リニモ1日駅長体験やリニモ車両基地見学、オリジナルトートバッグといったプレゼントが抽選で当たる。

【開催期間】2022年11月1日(火)から2023年1月31日(火)まで

【デジタルスタンプ設置場所】

<施設・店舗>

長久手温泉ござらっせ・あぐりん村、愛・地球博記念公園、名古屋市科学館、レトロ電車館、名古屋港水族館、愛知県陶磁美術館、招き猫ミュージアム、岩崎城、豊田市美術館、古戦場公園、トヨタ博物館、リニモテラス公益施設、あいち海上の森センター、白山宮、とよたエコフルタウン、BENKEI、すまいるベリーズ長久手、café meal Baroque、味仙藤が丘店、and café、イオンモール長久手、浅井屋製菓舗、IKEA長久手、星が丘テラス、ますきち-宿泊・喫茶・土産・案内-

<リニモ駅>

藤が丘駅、愛・地球博記念公園駅、八草駅

【広報】リーフレット配布(10,000枚)、ポスター掲出(100枚)、SNSによる広報(Instagram、TikTok)

5 ジブリパークを起点とした広域観光モデルルート(昨年度末完成・配布、今年度多言語化及び増刷・配布)

【配布、PR実績】

観光案内所、沿線施設、リニモ駅、愛知環状鉄道駅、空港(中部国際空港・県営名古屋空港)における配架
愛知県交通対策課HPへの掲載

<首都圏プロモーション等PRイベントにおける配布>

○「ツーリズムEXPOジャパン2022」の愛知県出展ブースにおけるPR

R4年9月@東京ビッグサイト(東京都)

○愛知の観光物産展「こってりだけじゃない。ディスカバー愛知フェア」におけるPR

R4年9月@クイーンズスクエア横浜(横浜市)、11月@ディーズスクエア(大阪市)

【多言語化】

英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語

【活用方法の検討】

○MaaSとの連携によるリニモを起点とした観光の効率化、各種サービスの組合せ